旧緯度観測所本館

本市へ譲渡が決定

国立天文台水沢VERA観測所＝水沢区星が丘町＝の敷地内にある洋風木造建築物「旧緯度観測所本館」が市へ無償譲渡されることが決まりました。観光振興や生涯学習の場などさまざまな活用が期待されます。

南側から見た旧緯度観測所本館

旧緯度観測所本館が本市へ無償譲渡されることが正式に決まり4月4日、国立天文台（東京都三鷹市）の観山正見台長が市役所を訪れ、相原正明市長に譲渡決定通知書を手渡しました。相原市長は「科学技術の振興と観光の面を合わせて全国に情報発信し、市の発展のために活用していきたい」と感謝の気持ちを述べていました。

今回譲渡を受けた旧緯度観測所本館は、大正10年12月に建設され、旧水沢緯度観測所所長を務め、Z項の発見者でもある木村栄ゆかりの建物です。特徴的な望楼を持ち、市民から郷土を代表する建物の1つとして長年親しまれてきました。老朽化が進んだことから、平成17年に建物の解体が決まりましたが、市民団体から保存を求める声が上がり、取り壊しが中断されていました。

市は、18年4月に「旧緯度観測所本館整備・活用の基本方針」を定め、建物の譲渡を求めてきました。同年6月から具体的な手続きを進め、ことし正式に譲渡の要望書を提出していました。

今後は、市民と国立天文台の橋渡しの場、生涯学習の場、科学を探究する場として多面的に活用できるよう整備内容を検討していきます。

【問い合わせ】本庁企画調整課（内線416）

市教育委員に家子さん

家子洋子さん（48）
江刺区大通り

市教育委員会の髙橋新平委員長が3月30日で退任し、新たに家子洋子さんが教育委員に選任されました。家子委員の任期は平成19年3月31日から平成23年3月30日までです。

また教育委員の互選により委員長、委員長職務代理者の選出を行い、委員長には千葉啓一委員(67)＝衣川区瀬原＝、委員長職務代理者には鈴木秀悦委員(65)＝前沢区白山字保志場＝が3月31日付けで就任しました。

助役の名称が副市長に

地方自治法の改正に伴い、4月1日から「助役」の名称が「副市長」に変わりました。助役の名称は明治21年から用いられてきましたが、市長を支える役割をより適切に表す名称として副市長に変わります。

長寿のまち奥州・3月は4人が100歳に

菊地シンさん（3月10日）

開田金三郎さん（3月20日）

奥州市は長寿のまち―。3月には4人の市民が満100歳を迎えました。

菊地シンさん＝江刺区愛宕字八日市＝は、若いころから自己管理がしっかりし、今でも時間どおりの生活を送っています。

開田金三郎さん＝胆沢区若柳字中横沢原＝は、5年前に病気で倒れるまでは、農作業の手伝いもしていました。きょうだい全員が90歳を超える長寿の家系です。

菊地ハナさん（3月22日）

井上キヨシさん（3月23日）

菊地ハナさん＝江刺区愛宕字三百刈田＝は、若いころは大変しつけに厳しかったそうです。今は歌うことが大好きです。

井上キヨシさん＝衣川区星屋＝は、区内最高齢者です。95歳まで旅行に参加するなど、とても活動的な人です。

4人にはそれぞれ市から記念品が贈られました。おめでとうございます。これからもどうぞお元気で。

市の出来事から

市生涯スポーツ推進大会を開催

本年度の市生涯スポーツ推進大会は3月11日、江刺体育文化会館（ささらホール）で開かれ、市民ら350人が出席しました。

誰もがスポーツに親しみ、生きがいや健康づくりに生かせるまちを目指そうと開かれた大会では、シドニー、アテネ両五輪で銀メダルに輝いた武田美保さんによるスポーツ講演会や、本年度スポーツ振興に貢献した市民ら179人・17団体への表彰が行われました。

スポーツ講演会では、シンクロナイズドスイミングで活躍した武田さんが「夢を追いかけて」と題し、世界で戦うための厳しい舞台裏や自身の体験談などを話しました。武田さんは「自分から限界を作らないこと。小さな成果の積み重ねが、大きな成果につながる」とアドバイス。児童・生徒たちは銀メダリストの話を聞き漏らすまいと、私語ひとつせず、真剣な表情で聞き入っていました。

児童・生徒の活躍が目立った教育委員会表彰

江刺・玉里地区センターが完成

記念式典で謝辞を述べる
玉里振興会の菊池寛会長

江刺区玉里字青篠地内に建設された玉里地区センターの落成記念式典は3月10日、同センターで行われ、市や地区の関係者ら70人が参加しました。

地区センター制度は、旧江刺市が住民主体の地域づくりの拠点を目指し、出張所・公民館に替わる施設として導入していました。老朽化していた旧施設の改築は地区にとって長年の課題であり、式典後に開かれた祝賀会には地区住民を中心に120人が参加し、新しい活動拠点の完成を喜びあっていました。

完成した同センターは、延べ床面積が706平方㍍で、設計に当たっては地区の要望にも配慮。120人規模の会合が可能な研修室（会議室）、多目的ホール、各種団体が利用できる事務室、調理室などが配置され、地区の中核を担う施設として期待されます。

お世話になった保育所とお別れ

お別れの呼び掛けをする北股保育所の児童

衣川区古戸に6月開所予定の幼保一体化施設に統合される北股へき地保育所、南股へき地保育所の閉所式が、3月下旬に相次いで行われました。

北股へき地保育所の閉所式は21日、北股地区センターで行われました。昭和38年の開設以来、425人の児童をはぐくんできた同保育所では、地域に伝わる大黒舞に取り組んできましたが、この日も多くの参加者の前で披露されました。最後に児童による呼び掛けで別れの言葉が告げられると、思わず涙ぐむ人の姿も見られました。

南股へき地保育所の閉所式は23日、同保育所で行われました。式典に先立ち、南股地区センター前で行われ記念碑の除幕式では、昭和38年の開設以来保育所を巣立っていった533人や、この地区に居住する住民数を意味する「五百の瞳」と刻まれた石碑が披露されました。

南股保育所閉所式会場には児童の笑顔がたくさん飾られました